

## 琉球大学学術リポジトリ

バイオ21株式会社における沖縄の天然素材を活用した美容商品の研究開発と製造販売～Chulalaちゅららシリーズを中心に～

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岡田, 吉央 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002016725">http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002016725</a>

バイオ21株式会社における沖縄の天然素材を活用した美容商品の研究開発と  
製造販売 ～ Chulala ちゅらら シリーズを中心に ～

岡田 吉央

バイオ21株式会社 郵便番号 904-2424 沖縄県中城村字南上原 750

TEL: 098-937-0021 FAX: 098-937-1166 E-mail: y-okada@bio21.co.jp

バイオ21株式会社は平成11年の設立で、現在創業7年目に入っています。社の初めての商品であった化粧落とし「ちゅららクレンジングローション」を発売の後、平成14年に化粧水として「月桃花水（げっとうかすい）」を加えました。

沖縄県物産公社が展開するアンテナ店舗「わしたショップ」などでの好評、またテレビショッピングなどでの販路拡大を受け、平成16年2月に現在のうるま市州崎に最終製品の製造工場部門を移設し、工場内の一角に研究室を設けました。これまで事務所と工場が隣接して有った中城村南上原には現在は本社事務所、並びに工場跡を改装し、直販とお客さまからの相談を受け持つコールセンター、また月桃の抽出作業所が立地しています。平成17年3月には東京都新宿区四谷1丁目に東京営業所を開設しました。

この2005年秋の新商品として美容液の「美翠（びすい）」、クリームの「Majun（真潤まじゅん）」を加え、Chulala ちゅらら シリーズの基礎化粧品セットが勢ぞろいした事に成ります。また Chulala ちゅらら シリーズとは別枠でやはり2005年秋の新商品としてパック剤のトリートメントマスク「アルピヴェール Alpiveil」も商品群に加わりました。これはエステサロンなどでの業務用パック剤としても用いられて行く事に成る筈です。

バイオ21株式会社は研究開発に基づいた独創的な商品設計と商品の製造を一貫して沖縄内で行って来ており、発売されている全ての商品で防腐剤無添加を共通の商品開発の柱としています。また、商品に沖縄の素材を活かした特徴を加える事を、差別化のもう一つの柱としています。化粧品業界の中小企業の大部分は、原料取り扱い商社から供給される化粧品原料を、独自の商品設計(レシピ)で製造する様式を取っています。つまり同業大手と同じ手札の中でビジネスをしています。バイオ21社では、用いる化粧品原料の内でごく限られた種類の素材でも自社で製造する事で、同業大手が手に入れない原料を切り札に、勝負を懸けているわけです。

改正された現行の薬事法では、規制緩和の結果、化粧品に配合する事の出来る原料を厚生労働省が許可・承認する制度が廃止されました(平成12年より)。つまり、企業が安全性を確認した上で自由に配合して良い事と成っています。医薬品としてではなく、化粧品として販売する以上、特定の材料で効能が科学的に証明されたとしても、商品に表示・宣伝できる効能の範囲は限定的に成らざるを得ません。しかしその制限はあるとはいえ、化粧品業界は、天然素材の高付加価値な活用場としては、一般食品の範疇である健康食品と同等に有望と言えらると思います。

素材の研究成果に基づいて、もう少し明白に特定の効能を表示・宣伝して商品の差別化、高付加価値化に繋げようとする場合には、化粧品の中でも薬用または医薬部外品として、個別に製造許可・承認を得る必要があります。この許可・承認のプロセスにおいては、投稿誌での学術論文の掲載発表などが、専門学会等での外部評価の証左として必要に成ってきます。

今回の特別講演では、会社やその施設の紹介、ならびに商品群の説明を、研究開発課題との関わりの中でお話ししようと考えています。